

Warning

宮崎県で  
高病原性鳥インフルエンザの  
疑似患畜を確認！（家さん13例目）

各地で  
続発！

【概要】農場から通報、簡易検査及び遺伝子検査で陽性  
・1月2日 宮崎県延岡市 肉用鶏飼養農場 約 6,000羽

【野鳥における事例も増加】  
・陽性確認：1道10県64例（野鳥53例、環境試料11例）  
北海道・宮崎県・山形県・鹿児島県・新潟県・福岡県・群馬県・福島県・大分県・高知県・徳島県で陽性事例確認

～例年、1月は発生のトップシーズン！気を引き締めて～  
自己点検の実施と毎月の報告、  
不備があれば早急な対応をお願いします！

飼養衛生管理の基本的な管理項目を毎月点検・改善しましょう！

▶人、物、車両の入出時対策

- ・衛生管理区域専用の衣服や靴の使用
- ・着用の前後で交差のない動線、および明確な境界を確保
- ・適切な車両消毒、手指消毒の実施
- ・家さん舎ごとの専用の靴の使用
- ・侵入防止対策を出入りする関係者へ周知徹底

▶野生動物の侵入防止、誘引防止

- ・畜舎の壁、防鳥ネット等の破損修繕  
→特にカラス、イタチ等の侵入防止を！
- ・鶏卵・鶏糞の搬出口に覆いを設置
- ・たい肥舎への防鳥ネット設置
- ・餌置場の清掃、死体や廃棄卵の適切な処理など誘引を防止
- ・隠れ場所を作らない（整理整頓・草刈り）

自己防衛

<高病原性鳥インフルエンザの症状>

- ・肉冠や肉垂が紫色になる
- ・産卵低下または停止

- ・出血、壊死
- ・神経症状、下痢等

- ・顔面の腫れ、むくみ
- ・高い死亡率

少しでも異常を感じたら早期通報をお願いします！



鳥インフルエンザの情報を掲載した農林水産省ウェブサイト: <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

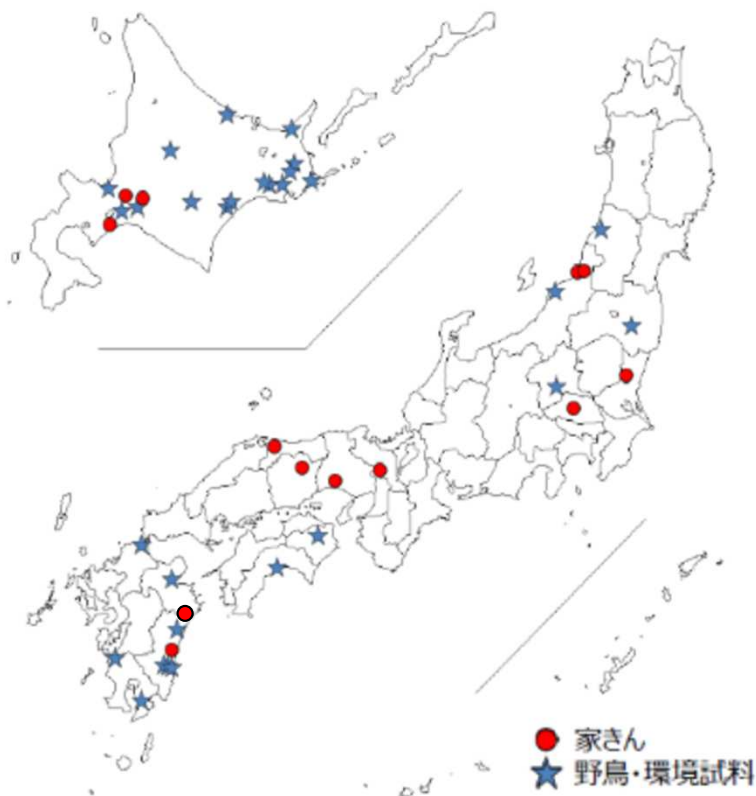
Warning

異状をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで  
電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728  
夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018

# 令和7年シーズンの発生状況

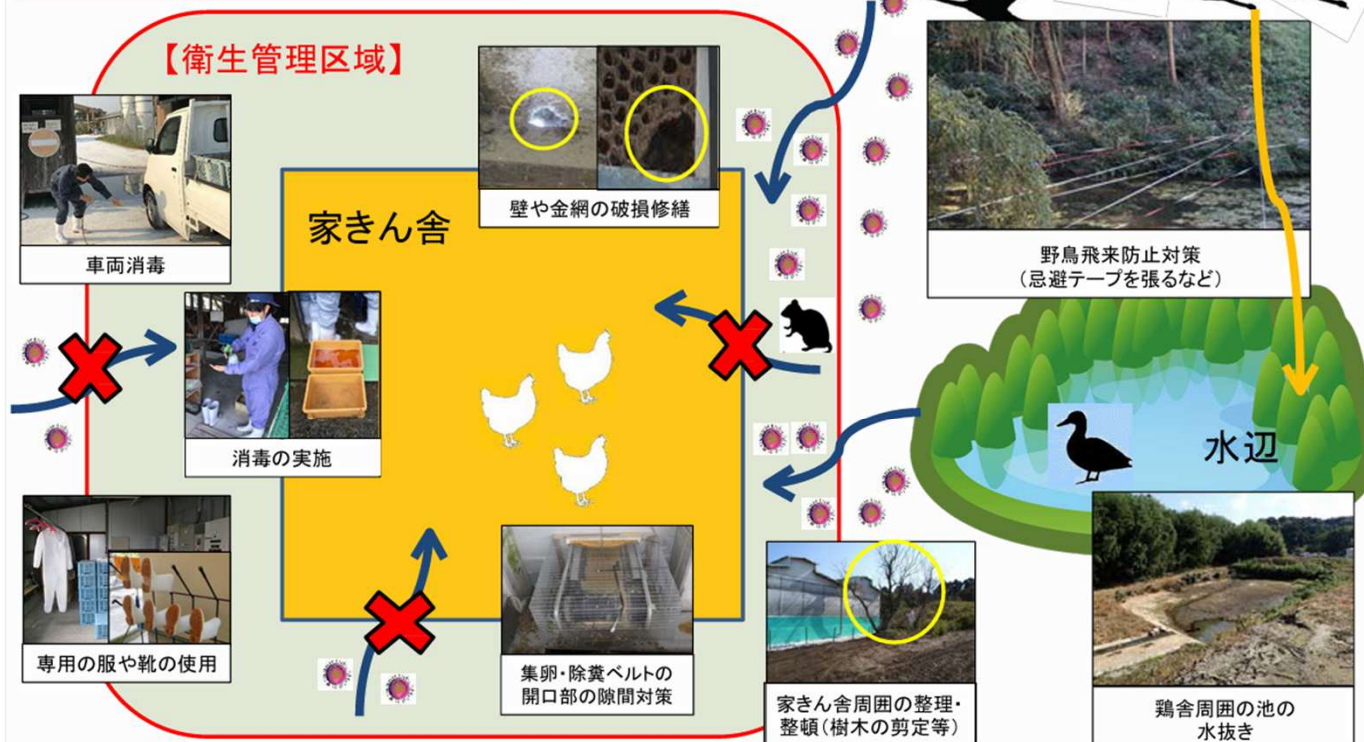
これまでに13事例約390万羽が殺処分の対象に

※ 疑似患者確認時の羽数



	地域	疑似患者 判定日	用途	羽数(約)	亜種
1	北海道白老町	10/22	採卵鶏	45.9 万羽	H5N1
2	北海道恵庭市	11/2	採卵鶏	23.6 万羽	H5N1
3	新潟県胎内市	11/4	採卵鶏	63 万羽	H5N1
4	新潟県胎内市	11/9	採卵鶏	28 万羽	H5N1
5	宮城県日向市	11/22	肉用鶏	4.8 万羽	H5N1
6	鳥取県米子市	12/2	肉用鶏	7.5 万羽	H5N1
7	兵庫県姫路市	12/16	採卵鶏	24 万羽	H5N1
8	岡山県津山市	12/20	採卵鶏	43 万羽	H5N1
9	京都府亀岡市	12/24	採卵鶏	28 万羽	H5
10	茨城県城里町	12/25	採卵鶏	97 万羽	H5
11	北海道由仁町	12/29	採卵鶏	0.6 万羽	H5
12	埼玉県嵐山町	12/30	採卵鶏	24 万羽	H5
13	宮城県延岡市	1/2	肉用鶏	0.6 万羽	H5

## 予防対策の重要ポイント



### ① 人・物・車両によるウイルスの持込み防止

- ・衛生管理区域、家さん舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
- ・衛生管理区域専用の衣服、靴、家さん舎ごとの専用の靴の使用
- ・上記措置の記録

### ② 野生動物対策

- ・防鳥ネットの設置・修繕、壁の破損・隙間の修繕
- ・家さん舎周囲の清掃、整理・整頓
- ・上記措置の定期点検

周辺に水辺のある農場は  
①、②の予防対策を徹底

(リスクを減らす取組(季節を限って水を抜く、野鳥を寄せ付けないよう忌避テープを張るなど)が効果的)